

# 「10まであといくつ」をすばやく言えるようにしよう

単 元	いくつといくつ	対象学年	1 年
ね ら い	「いくつといくつ」の表を毎時間唱えたり、「10まであといくつ」カードを毎日家庭学習で続けたりすることで、10までの合成・分解をおぼえ、計算がすばやくできる。		

## 1 準備するもの

教師：「いくつといくつ」の表、「10まであといくつ」カード

## 2 学習のしかた

(1) 「いくつといくつ」を暗記しよう！

① 「いくつといくつ」の表を教室に掲示し、毎時間みんなで声に出して読む。



5, 6, 7・・・と学習が進んでいくたびに表を増やしていく。

児童には、5～9までを一枚に印刷したカードを持たせ、家でも取り組めるようにする。

②時々、「見ないで言える子、いってみよう。」と声をかけ、言えた子を褒め、覚える意欲を育てる。

③教師の前で暗記テストをさせ、合格したらシールを貼るとより効果が上がる。

(2) 「10まであといくつ」カードで、よいタイムを出そう。

5×5のマスのマスに0から10までの数字が書いてあるカードを用意する。あといくつで10になるかを考え、答を唱える。毎日練習し、タイムを計測し、記録する。慣れてきたら、唱える順番を変えて取り組む。

## 3 学習上の留意点

- ・自分の前の日のタイムを目標にして、行うように働きかける。
- ・タイムを縮めることに夢中になり過ぎて、計算を間違えないように注意する。
- ・1分以内でできるようになったら、順番を変えて解くように言う。
- ・数字を見て、あといくつかを言えるようにさせたいが、「5と5」のように表の数字を言いながらもよいことにする。

## 4 学習の成果

毎日繰り返すことで、確実に計算が速くなった。確実に定着させ、後々のたし算やひき算、そして、2年生で学習する筆算の学習で困らないようにしたい。